

カワウってどんな鳥？

カワウ(ペリカン目 ウ科)

体長 約80cm~85cm

体重 約1.5kg~2.5kg

羽を広げると 約150cm

泳ぐことがとても上手で、すばしっこくにげる魚を追いかけて、先が曲がったくちばしでとらえるんだ。



水面から飛び立つカワウの群れ



カワウはせん水が大とく意!

- ・足の水かきがかモとはちがい、全部の指にある!
(かモは3本の指だけ)
- ・流線形の体で水の抵抗をへらしている!
- ・水中で空気がもれることを防ぐため鼻の穴がない!
- ・羽の油分が少なく、水にしずみやすい!

水にもぐって魚をたくさんとれるよう進化してきたんだね。



なぜ、カワウが増えるところまるの？

カワウは
大食い!



- ・カワウ1匹が1日に食べる量は300~500g。体重の3分の1の魚を食べるんだ。
- ・びわ湖全体のカワウが1年間に食べる魚は、年によっては漁師さんが1年間にとる量より多くなるんだよ。
- ・漁師さんにとってびわ湖のアユはとっても大切な資源。アユは群れで泳ぐ性質があるので、河口付近やびわ湖で群れているアユを食べつくしてしまうんだ。

竹生島が
大変なことに!



- ・カワウはコロニー(群れになって作った巣)を作るんだよ。コロニーに集まったたくさんのカワウがふんをすると、木々の葉っぱにかかったり、土に落ちたりするよね。それが長い間続くと、木がかれていくんだ。

40年以上前、カワウは日本全国にいましたが、1970年代になると絶めつが心配されるほどに数をへらしました。1980年代になると、自然環境が良くなってきたこともあり、再び増え始めました。現在では全国で十数万羽生息しているとされ、魚を食べてしまうことによる被害額は毎年約70億円と言われています。

たくさんのカワウが竹生島にすみつけていた!

たくさんのカワウがすみ着いていた、平成15年ごろの竹生島と、すみ着くカワウの数がへった令和6年の竹生島のように→

平成15年ごろの竹生島は、たくさんの木が立ちがれているのがわかるね。現在は木が青々としげっているよ。どうしてかな。

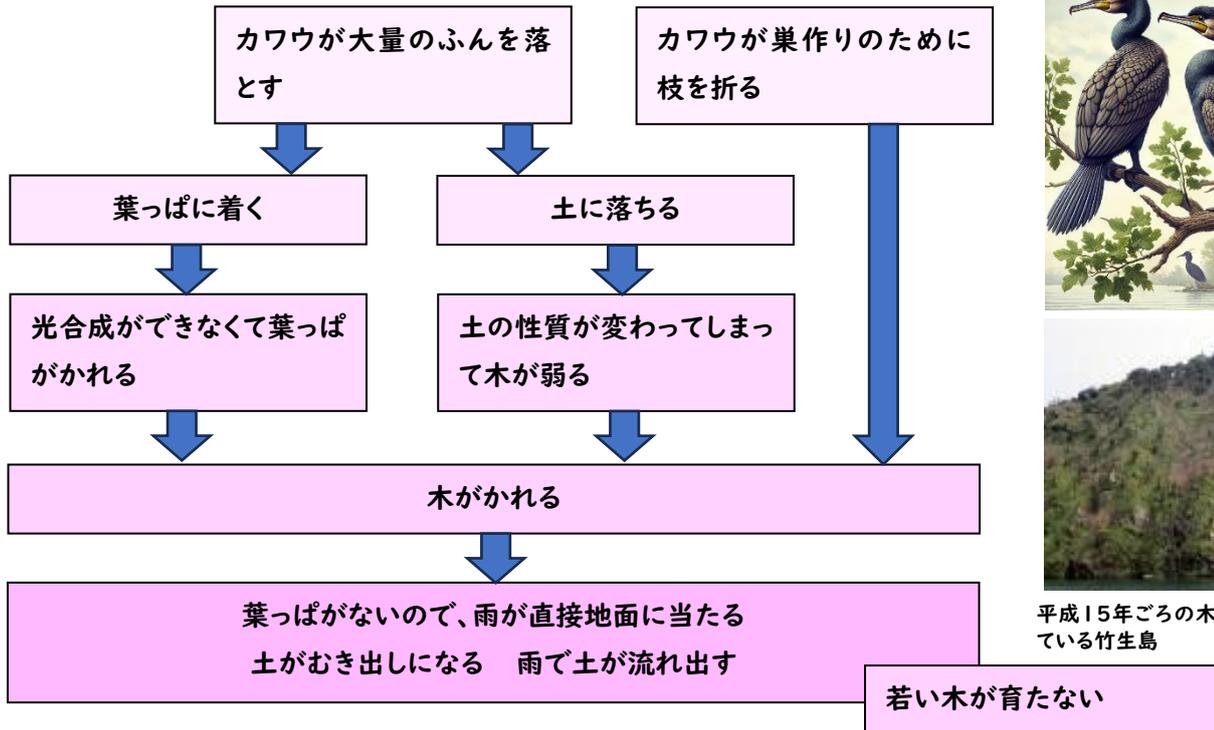


平成15年ごろの竹生島



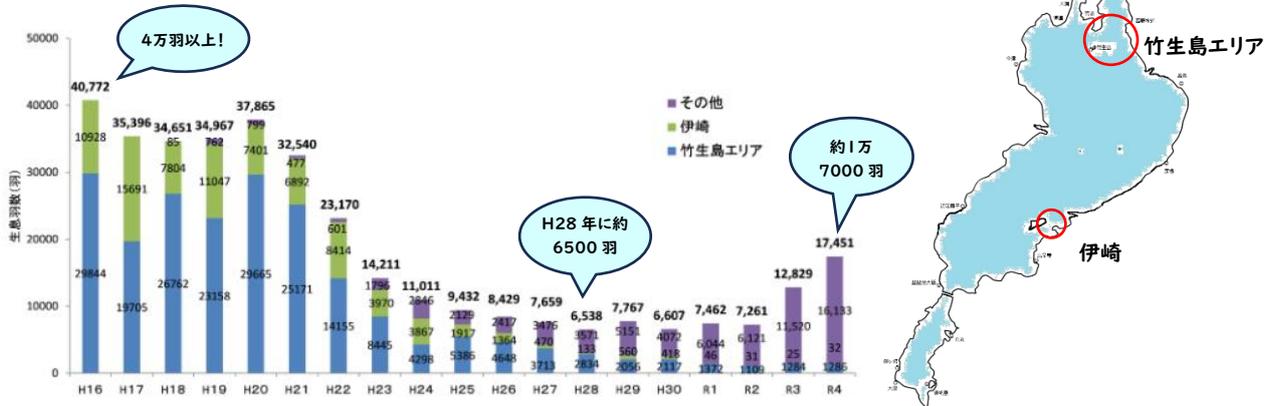
令和6年の竹生島

竹生島の木々がかれてしまう理由



平成15年ごろの木がかれ、地面が見えている竹生島

びわ湖にどれだけのカワウがすんでいるの?



平成16年にはカワウの多くが竹生島にいたんだね。その後どんどんへっていき、令和4年には竹生島のカワウはほとんどいなくなったのはどうしてだろう。

令和4年には、竹生島エリアや伊崎以外の「その他」の場所にカワウが増えてきているね。竹生島がすみにくくなったってことかな。

